

1 景気動向全体

内閣府「月例経済報告」

令和4年6月20日に発表された「月例経済報告」では、景気は、持ち直しの動きがみられる。

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2 市内経済の状況・動向

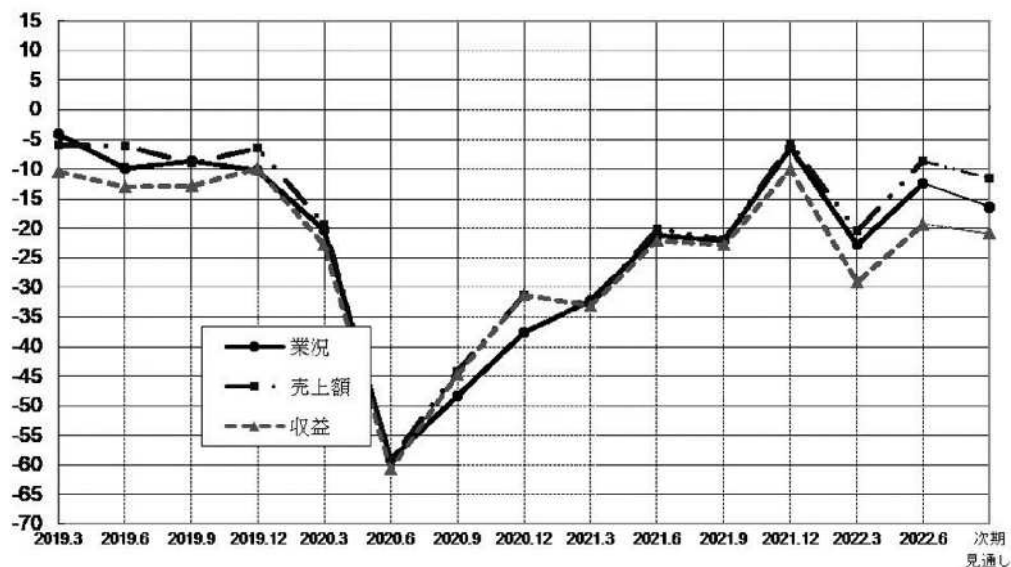
(1) 景況感について

川崎信用金庫「中小企業動向調査（2022年4-6月期）」（6月上旬調査、6月30日発表）では、川崎市内中小企業の景況感を総合的に示す業況DI（業況判断指数）は、前期比10.3ポイント増の△12.4と良化している。

概況／業況DI 最新と見通し

業種	時期	2021年				2022年			前期比増減	
		1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	見通し	見通し
全 体		△ 32.2	△ 21.2	△ 22.1	△ 6.5	△ 22.7	△ 12.4	△ 16.4	10.3	△ 4.0
製 造 業		△ 28.9	△ 11.8	△ 7.9	△ 8.7	△ 12.4	△ 19.9	△ 22.9	△ 7.5	△ 3.0
卸 売 業		△ 62.1	△ 54.3	△ 45.2	△ 11.8	△ 41.2	△ 29.5	△ 17.6	11.7	11.9
小 売 業		△ 25.5	△ 48.4	△ 62.5	△ 35.3	△ 38.5	△ 42.0	△ 48.0	△ 3.5	△ 6.0
建 設 業		△ 22.8	△ 20.7	△ 14.1	△ 6.8	△ 10.7	△ 4.9	△ 12.9	5.8	△ 8.0
不 動 産 業		△ 14.6	△ 13.3	△ 15.9	3.5	△ 9.1	5.6	△ 5.7	14.7	△ 11.3
運 輸 業		△ 36.8	14.3	△ 11.8	17.7	△ 20.6	△ 16.7	△ 19.5	3.9	△ 2.8
サ ー ビ ス 業		△ 42.9	△ 22.8	△ 22.9	△ 1.7	△ 34.2	2.6	△ 0.9	36.8	△ 3.5

DIの推移



(出所：川崎信用金庫「中小企業動向調査」)

(2) 雇用の動向について

6月末に発表された神奈川県労働局「有効求人倍率」(月末調査、毎月1日頃発表 2か月前時点の情報、川崎・川崎北公共職業安定所管内)では、市内の有効求人倍率は前月比0.06減と悪化している。

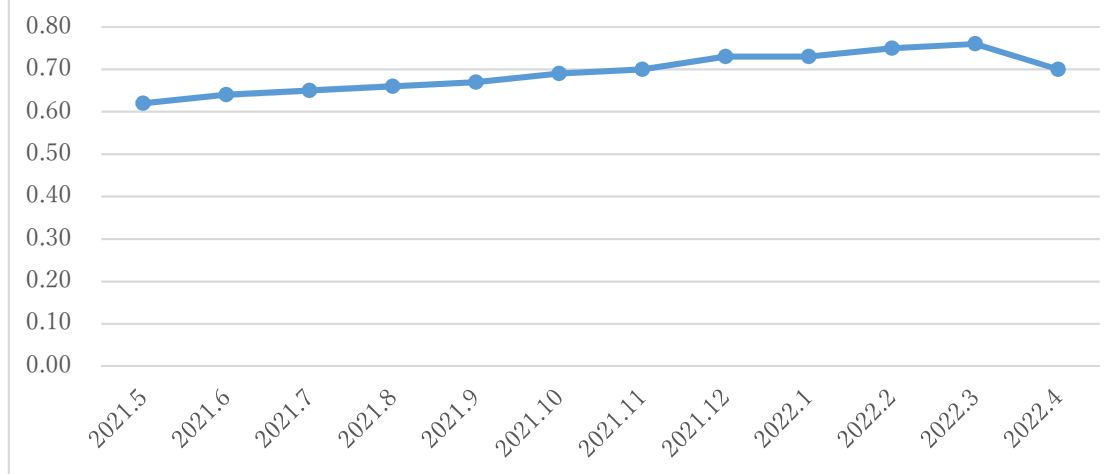
・有効求人倍率の推移(川崎市)

(単位 人・倍)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
有効求人数	15,318	15,461	15,376	15,274	15,658	15,852	15,366
有効求職者数	22,078	22,009	21,011	20,975	20,837	20,961	21,797
有効求人倍率	0.69	0.70	0.73	0.73	0.75	0.76	0.70

(出所：川崎・川崎北公共職業安定所「統計月報」)

直近1年間の有効求人倍率（川崎市内）



（前出「統計月報」から、経済労働局作成）